

Jetson nano 評価用キット

IMX219 エミュレーションのため、Jetson nano 対応として従来の SVO-03-MIPI HDMI 版に対して【I2C Slave IF (Ack 応答)】【RGB-Raw 変換 (ビットシフト含む)】を追加致しました。

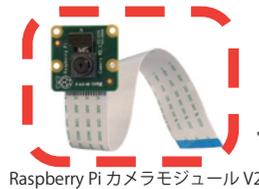
これにより、製品の評価、ラズパイカメラの代わりに映像を Jetson™ nano に入れることが可能となり、テストなどの効率化を支援いたします。

※Jetson™は NVIDIA 社の登録商標です。

MIPI ジェネレーター SVO for Jetson

SVO-03-MIPI Jetson™ nano 対応版は、SVO-03-MIPI に I2C 応答機能を追加したもので、Jetson™ nano と接続した際に SVO-03-MIPI をラズパイカメラとして認識させて映像を転送するボードになります。SVO-03-MIPI は Jetson™ nano 上で『/dev/video0』にマウントされたカメラデバイスとして認識されます。Linux システムから認識されますので、GStreamer、OpenCV などのフレームワークに対して映像を入力できます。弊社ではこの Jetson™ nano の MIPI CSI カメラ用コネクタに、SVO-03-MIPI を接続する為の接続ボード (NV011-D) を用意しております。このキットは標準的な販売品目ではないので、詳細は弊社までお問い合わせください。

カメラを使った
開発の場合



Raspberry Pi カメラモジュール V2

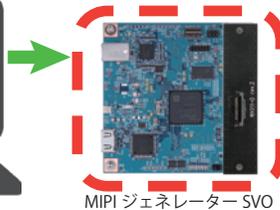
Jetson™ nano

カメラモジュールエミュレーター
ラズパイカメラの代わりに Jetson™ nano に映像入力

SVO を使った
開発の場合



保存した映像を再生



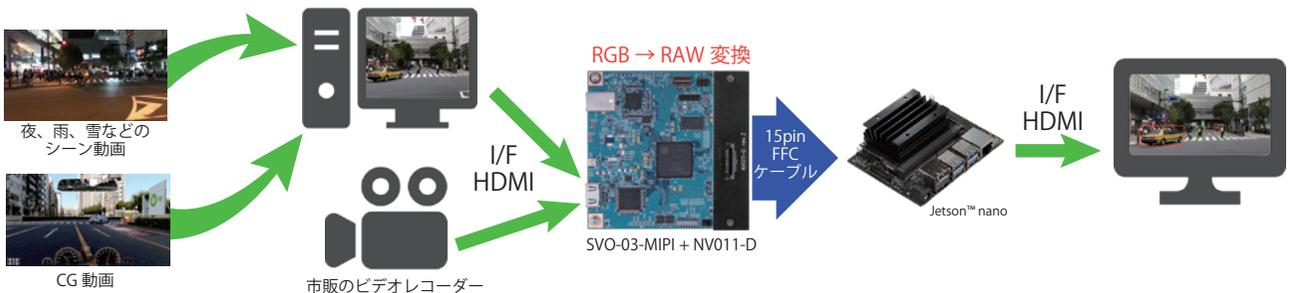
MIPI ジェネレーター SVO



Jetson™ nano

通常の開発においてはこの図【カメラを使った場合】のように Jetson™ nano にラズパイカメラを接続して撮影しながら開発を進める必要がありますが、SVO-MIPI を使用することで、効率的にテストなどが出来ます。

HDMI モードで Jetson nano へ映像入力



この図は HDMI 経由で映像を入力するモードとなります。PC の HDMI ポートから出力される映像を SVO-03-MIPI で RGB から RAW 10bit 変換を行い Jetson™ nano に映像を入れることができます。PC 上では拡張ディスプレイとして SVO-03-MIPI が認識されます。そこに流したい映像をおくことでリアルタイムに映像を送信でき、これにより録画してある映像ソースを入れ替えて検証が可能です。

資料請求・お問い合わせは sv-support@net-vision.co.jp

SVO-03

検索

株式会社ネットビジョン
〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町 3-8-6
Tel : 03-5577-5662 Fax : 03-5577-5669

<https://www.net-vision.co.jp>

NetVision